

～～第8927回～～

ビク石

～R2. 6. 20～

梅雨の合間の晴天に恵まれ、登山日和の一日となる。コロナウィルスも下火になり、県境超え移動解禁の今日ではあるが、マスク着用、ソーシャルディスタンスを保ちながらの山歩きとなる。ビク石ふれあい広場に集合し、人員確認、体操をし、沢沿いを頂上に向かって歩く。昨日の雨で沢は水かさが多く流れも速い。足元も水を含んで滑りやすくなっている所もあり慎重に進む。15分程で浪切不動尊に着く。ここの道沿いに、7,80㌦に伸びたツチアケビが1本だけある。咲き始めたばかりで、蕾の方が多い。少し休憩を取り、写真撮影。そして、花が終わったフタリシズカ、季語にもなっているというハナイカダの実、花芽を付けたばかりのヤマユリなどに出会いながら起伏に富んだ登山道を1時間ほど歩き、山頂直下の見晴らしの良い広場に着く。ここで昼食を取る。次にまず山頂ビク石(石谷山526m)に寄り、登ったコースを戻るグループと、ビオトープ、ビク石登山口バス停方面に下るコースを辿りながら周遊して、ふれあい広場まで戻るグループとに分かれる。ビオトープの池はモリアオガエルの産卵の時期で、木々には卵がぶら下がり、池には一足先に生まれた数えきれないほどのオタマジャクシがいた。コンクリートの立派な施設もあり、10人ほどの登山客が、昼食を取っていた。こちらの登山道は竹林が広がり、急坂だが整備され、適度の湿り気のおかげで、滑ることもなく、二つに分かれたグループがほぼ同時にふれあい広場まで戻ることができた。行きにJR、バスを乗り継いできた人も、うまい具合に車に乗せてもらうことができ、それぞれの車に分乗して帰路に着く。

参加者：24名（静岡北4、静岡東11、静岡南1、静岡西6、焼津2）

天気：晴れ

地図：伊久美

コースタイム：静岡駅 748＝藤枝駅 832＝筈の木橋 904…ビク石ふれあい広場 930-45…浪切不動尊 1000…頂上直下広場 1100-1200…頂上 1205…ビオトープ 1240-45…ビク石登山口 1315…ビク石ふれあい広場 1340

記録：静岡東支部 K. Y



ツチアケビ<ラン科(菌従属栄養植物)>



ビク石頂上広場

